

地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）について

○令和５年度寄附活用事業の概要
令和５年度は９事業に対して、**３９社から６，５４９万円**の寄附金を受領。

No	事業名 （事業実施課）	実施状況	事業費	成果指標	目標値 （Ｒ５）	実績値 （Ｒ５）	達成率 （％）	分析・評価	寄附企業
1	若年女性の県内定着が進む社会づくり 推進事業 （次世代・女性活躍支援課）	県内外の女子大学生が、自ら県内各地の女性活躍推進に取り組む企業を訪問し、職場風景や企業の取組のほか、女性従業員のライフスタイルについての取材記事を作成の上、県ウェブサイト「あきた女性の活躍応援ネット」やＳＮＳなどにより、同世代の女性に興味を持ってもらえるような企業情報等を発信した。 また、コンテンツ周知のためのウェブ広告を県内に加え、１都３県及び仙台市を対象に実施したほか、秋田県就活サイト「kocchake!」や東京事務所と連携し、県外への発信を強化した。 取材企業数：２０社、参加大学生：２０名（県内大学生１２名、県外大学生８名） 新たなコンテンツの追加により、県ウェブサイトの魅力向上と利用者の利便性向上を図った。 ウェブ広告（Google、Instagram）の配信により、県ウェブサイトを周知した。 県ウェブサイト「あきた女性の活躍応援ネット」のアクセス数 令和３年度：３９，７７６回、令和４年度：６４，１３９回、令和５年度：１３０，５６５回 「あきた女性活躍・両立支援センター」の女性活躍・両立支援推進員３名が企業を訪問し、法制度の啓発や支援策等の紹介を行った。（延べ６３１社） 女性活躍・両立支援アドバイザー（社会保険労務士）を派遣した。（１３５社）	27,076,616円	女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画策定企業数（従業員数100人以下の企業）（社）	400	466	116.5	女子大学生の目線で、県ウェブサイトやＳＮＳによる周知のほか、首都圏１都３県及び宮城県仙台市を対象にウェブ広告を実施したことにより、関連する基本目標「本県への移住者数」の増加に寄与したほか、第５次秋田県男女共同参画推進計画の目標として定める「支援を通じて定着した若年女性の数」も増加（Ｒ４：143人⇒Ｒ５：169人）した。 また、あきた女性活躍・両立支援センターによる企業への指導・支援により、新秋田元気創造プランに定める成果指標「女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画策定企業数（従業員数100人以下の企業）（社）」のＲ５年度目標を上回る４６６社が行動計画を策定している。 さらに、各事業の実施により、民間事業所の管理職（課長相当職以上）に占める女性の割合についても目標値を上回っており、引き続き、若年女性に魅力ある職場づくりを推進することで、若年女性の県内定着・回帰を図っていく。	・（株）アルビノ ・（株）SUTEKi ・Dual Life Partners(株) ・大橋鉄工(株) ・（株）5core
2	関係人口による「あきたの物語」拡大 事業 （地域づくり推進課）	首都圏等居住者１６名と県内３市町村の関係人口受入団体をオンライン交流や現地交流によりマッチングし、関係人口を拡大した。 首都圏等在住者７名が実際に現地を訪問し、受入団体の地域活動をサポートした。 東京で関係人口拡大を目的としたイベントを開催する２団体を支援し、合わせて４８名がイベントに参加した。 関係人口が地域と関わるきっかけとなるイベント等を取材し、関係人口を募集する記事として６７件公開し、延べ９９２人の参加者があった。	6,368,076円	関係人口と連携した地域活動に取り組んでいる市町村数（市町村）	19	21	110.5	オンラインツールを使った交流をきっかけに、県外在住者の県内の地域活動に参加を促すことで、大都市圏の関係人口の拡大に取り組んだ。 新秋田元気創造プランに定める成果指標「関係人口と連携した地域活動に取り組んでいる市町村数（累積）」のＲ５年度目標１９市町村に対し、実績は２１市町村と上回ったことから、本事業については一定の成果がみられたと考えている。 人口減少や少子高齢化が進む中、地域の新たな担い手となる関係人口を生かした地域づくりを進める必要があることから、今後も関係人口との連携による地域づくりを継続していく。	・（株）アルビオン ・（有）オイカワ ・（株）RUNWAY S ・大橋鉄工(株) ・野村アセットマネジメント(株)
3	劇団公演を活用した交流人口拡大促進 事業 （文化振興課）	秋田をはじめとする東北の祭りを生かしたノンバーバル（非言語型）ミュージカルを、令和５年８月４日から16日まで、あきた芸術劇場ミルハスで全10回上演した。 公演は、民間旅行業者が企画する東北祭りツアーにも組み込まれ、県内外から3,701人が来場した。	80,446,797円	文化事業への来場者数（人）	270,000	523,376	193.8	新秋田元気創造プランに定める成果指標「文化事業への来場者数」の令和５年度実績は523,376人と目標値270,000人を大きく上回っており、左記のミュージカル公演にも県内外から3,701人が来場し、交流人口・関係人口の拡大につながっている。 引き続き関係事業者と連携し、効果的なプロモーションを実施するなどして、更なる集客に努めていく。	・大橋鉄工(株) ・第一電材(株) ・（弁）高橋裕次郎法律事務所 ・（株）マザーズシステム・ジャパン ・河村化工(株) ・（株）龍角散 ・（株）ケーエムエフ ・（株）セキエイ ・（株）交通新聞社 ・NUWORKS(株) ・オリジナルテクノロジー(株) ・DOWAホールディングス(株) ・ルネッサンスキャピタル(株) ・大里綜合管理(株) ・日本郵船(株) ・イオンタウン(株)

No	事業名 (事業実施課)	実施状況	事業費	成果指標	目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成率 (%)	分析・評価	寄附企業
4	動物にやさしい秋田PR事業 (生活衛生課)	・ペットフォトコンテストの開催 夏休み期間中にフォトコンテストを開催し、ペットに関する写真を募集した。 ・応募総数635点のうち、入賞作品19点を選定し、9月に開催された動物愛護フェスティバルにおいて表彰式を行った。入賞作品については、県央、県北及び県南地域でそれぞれ2週間程度の巡回展示を行った。 ・冬フェスタ 1月下旬に冬のイベントを動物愛護センターで開催し、センターの見学、秋田犬雪像づくり体験、サッカー教室などの親子向けイベントを行った。約900名がイベントに参加した。	1,858,000円	動物愛護センターへの入場者数 (人)	17,000	9,968	58.6	令和5年度の動物愛護センターの年間利用者数は9,968人であり目標値の17,000人を大きく下回ったが、年間利用者数は回復傾向にあり、イベントによる来場の機会づくりを効果的に行うことで今後さらに増加傾向に向かうと予想される。 本事業の実績として、冬フェスタの参加者数は過去最高となり、フォトコンテストの応募者数は昨年度を下回ったものの、専用サイトへのアクセス数は過去最高であったため、「動物にやさしい秋田」を広くPRすることができたと考ええる。また、イベントを通して動物の適正飼養等を啓発することにより、基本目標「快適で暮らしやすい生活の実現」に寄与した。 令和5年度の実績を分析及び改善し、引き続きイベントの周知やPR等を強化をしていく。	・DOWAエコシステム(株) ・DOWAエレクトロニクス(株) ・DOWAメタルマイン(株) ・(株)東京メニックス ・大橋鉄工(株)
5	白神山地保全推進事業 (自然保護課)	エコツーリズム推進事業 ・登山系YouTuberと白神ガイドによる白神山地（小岳）や周辺地域を巡るエコツアーコース体験の実施 ・オンラインによるトークイベントの開催 ・「山と溪谷7月号増刊号」とヤマケイオンラインへの白神山地の価値や魅力等の記事の掲載 白神体験塾 ・小学4～6年生を対象とする「白神体験塾2023」の開催（日帰り4回、参加者80人（申込185人）） あきた白神認定ガイドの育成 ・県知事認定「あきた白神認定ガイド」の更新(全3回（7月、9月、11月）の講習の1回以上の受講と面接指導）及び新規養成（3か年で9回の講習受講） 30周年記念事業 ・記念シンポジウム及び現地散策の実施 ・白神山地エリアにおける体験プログラム等調査 白神エリアで行う体験プログラムやアクティビティのフィールド別の情報の収集・整理 ・子ども向け環境学習冊子の作成 白神山地の自然や価値を分かりやすく解説した冊子（20周年時のリニューアル版）の作成	20,305,580円	自然環境学習拠点施設等の利用者数 (人)	29,000	36,990	127.6	令和5年度の「白神山地周辺地域の来訪者数」は、白神山地が世界遺産登録30周年を迎え、各団体主催の記念イベントやメディア等による波及効果の影響により179,489人と昨年度実績を大きく上回り、近年の大雨による通行止めで来訪者が減少する年がある中でも長期的に見ると増加傾向にあることから、本事業は一定の効果があるものと考えている。 今後も継続した事業実施により来訪者数の増加に努める。 以上により、関連する成果指標「自然環境学習拠点施設等の利用者数」の増に寄与した。	・(株)アイビック ・(株)アルビオン ・大橋鉄工(株) ・オリジナル設計(株) ・中国木材(株)
6	森吉山麓高原自然再生事業 (自然保護課)	過去の開発で失われたブナ林を再生するための植栽（0.09ha、169本）を実施した。 また、環境教育イベントを実施し、寄附企業や県民が参加した。	1,020,404円					環境教育イベントの実施により、関連する成果指標「自然環境学習拠点施設等の利用者数」の増加に寄与した。また、植栽によりブナ林の再生面積が広がった。	・ピクテ・ジャパン(株)
7	八郎湖「わがみずうみ」創生事業 (八郎湖環境対策室)	八郎湖流域において、農地からの濁水流出を抑える水質保全型農業の推進や湖内窪地底層の底質改善を図る取組に加え、アオコ発生時の悪臭被害を抑制するアオコ対策などに取り組んだ。 また、水質浄化に向けた調査研究として、八郎湖の船越水道の江川漁港付近における水質等について、ヤマトシジミの生育に適した生息環境であるかを検討するための基礎調査を行ったほか、これらの調査結果等を踏まえた有識者による講演を含め、八郎湖の環境保全や地域資源等をテーマとしたフォーラムを開催し、地域住民等に対する情報提供や普及啓発を行った。	61,973,000円	八郎湖のCOD75%値（湖心） (mg/L)	7.1	8.0	88.8	八郎湖の環境保全や資源利用等をテーマとしたフォーラムの開催により、流域住民等に対する意識啓発や、水質保全対策の重要性等を情報発信した。 成果指標としている「八郎湖のCOD75%値（湖心）」については、これまでの取組により、湖内に流入する汚濁負荷量は着実に減少しているものの、夏季に高温少雨等が続いた影響もあり、令和5年度の実績は8.0mg/Lと目標の7.1mg/Lよりやや高くなった。 良好な環境の保全を目指し、引き続き、関係機関等と連携して、八郎湖の水質保全に対する地域住民等の理解を深め、「わがみずうみ」という意識の醸成を図りながら、各種対策に取り組んでいく。	・日本郵船(株)

No	事業名 (事業実施課)	実施状況	事業費	成果指標	目標値 (R 5)	実績値 (R 5)	達成率 (%)	分析・評価	寄附企業
8	里地里山保全活動支援事業 (農山村振興課)	パンフレットの作成、写真コンクールの開催、各イベントでの認定地域の特産物の販売や魅力発信など普及啓発活動を実施した。草木谷地域の認定地域における保全活動の支援を実施した。	2,927,312円	農村関係人口 (人)	9,600	11,968	124.7	地域外の里地里山サポーターと連携して継続して里地里山の保全活動等に取り組んだ地域があったことから、関連する成果指標「農村関係人口」の形成に寄与していると考えられる。 令和6年度においても、里地里山を後世に引き継いでいくため、引き続き、保全活動等に対し支援を行っていく。	・(株)アースダンボール ・(株)アルビオン ・NTCコンサルタンツ(株) ・全農畜産サービス(株) ・DOWAエコシステム(株) ・DOWAエレクトロニクス(株) ・DOWAメタルマイン(株) ・古河林業(株) ・大橋鉄工(株)
9	医療福祉・ヘルスケア産業人材確保育成事業 (地域産業振興課)	医療福祉関連産業参入セミナー(オンライン)やヘルスケア産業セミナー(オンラインと現地のハイブリット)を開催したほか、「秋田県医療機器・ヘルスケア関連企業就活ガイドブック2023」を作成・配布し、県内大学で医療・バイオ・ヘルスケア関連企業説明会を開催した。	1,620,000円	医療福祉・ヘルスケア関連産業への新規参入企業数 (社)	10	12	120.0	関連する成果指標「医療福祉・ヘルスケア関連産業への新規参入企業数」は、市場の拡大が予想されるヘルスケア産業への関心の高まりにより、令和5年度は目標値を超える12企業の新規参入があった。 引き続き、セミナー・企業説明会の開催やガイドブックの作成等を通じた医療福祉・ヘルスケア関連産業への参入促進や医工連携人材の育成等により、医療福祉・ヘルスケア産業の振興を図り、「医療福祉・ヘルスケア関連産業への新規参入企業数」の目標値達成に努める。	・住友ベークライト(株) ・ニプロ(株) ・大橋鉄工(株) ・タレントスクエア(株)